

平成30年度 肝炎に関する研究助成事業「研究奨励金」実施要領

助成対象 肝疾患に関する基礎・臨床分野でその研究成果が、ウイルス肝炎の受検、受診、受療の向上に関する研究に有用な影響を与えるものと期待される、優れた個人、団体及び共同研究グループの研究者。
※1 機関、1 件の申請とする。(所属機関の長の公印を捺した申請書による。)
※同じテーマで他の助成金に該当しないこと。

申請手続 別添の申請書を財団に提出すること。
申請書送付先 〒113-0034 東京都文京区湯島1-2-5 聖堂前ビル3階
(公財) ウイルス肝炎研究財団 事務局

奨励金 原則として、1件当たり100万円を贈呈する。

日 程 応募締切 平成30年12月5日 (当日の消印あるもの有効)
発 表 平成31年2月予定
贈 呈 平成31年3月予定

選 考 公益財団法人ウイルス肝炎研究財団奨励金選考委員会で審議のうえ、理事会において受賞者を決定する。
選考結果については、所属機関の長と研究者 (グループ研究の場合は代表者) に通知する。

選考委員 委員長 三代 俊 治
委 員 田 中 純 子
〃 西 口 修 平
〃 榎 本 信 幸

肝炎に関する研究助成事業の趣旨について

公益財団法人 ウイルス肝炎研究財団

代表理事 市田 隆文

我が国には、肝疾患の患者は約300万人存在すると言われており、これらの肝疾患が成人期に多発し、経過が長期にわたるため、患者の家族、家庭生活に及ぼす影響が大きく、また職場においても長期欠勤、休職の大きな要因の一つになっているため、国民の関心はますます高まっています。

このような肝疾患の予防、治療方法を開発するのには、医学は勿論、関連諸科学の協力によって取組むことが基本的に必要であり、国においても大型研究班を組織して、積極的な研究事業を行っておりますが、そのみに止まる事なく、よりきめこまかい研究体制作りや、研究開発の方途を講ずるため、民間資金による積極的な協力活動が望まれ、かような情勢のなかで、肝疾患に関する研究の推進とその基盤となる研究振興を図ることを目的として、昭和56年4月財団法人ウイルス肝炎研究財団が設立されました。

また、平成23年7月1日より、公益財団法人ウイルス肝炎研究財団となりました。

本財団は、そのような経緯から公益事業計画の一つとして、下記のとおり「肝炎に関する研究助成事業」として「研究奨励金」の贈呈をおこなっております。この事業の趣旨に基づき、当財団のささやかな意図が、国民の健康と福祉の向上にいささかなりとも寄与することが出来ますれば、望外の幸せと存ずる次第でございます。

つきましては、各位のご理解とご賛同をいただき、一層のご支援ご協力の程をお願い申し上げます。

記

研究奨励金 肝疾患に関する基礎・臨床分野で、その研究成果が肝疾患の成因と治療、予防に有用な影響を与えるものと期待される、優れた個人、または、研究団体に「研究奨励金」を贈呈する。

平成 年 月 日

公益財団法人 ウイルス肝炎研究財団
代表理事 市田 隆文 殿

(所属機関の長)
所 属：
職 名：
氏 名：

公印

公益財団法人 ウイルス肝炎研究財団研究助成事業（研究奨励金）申請書

研究者	(ふりがな) 氏 名： 生年月日： 年 月 日(歳) 自宅住所：〒 TEL： ()	所属機関： 職 名： 所 在 地：〒 TEL： () FAX： ()
	略 歴：	主な業績：
研究課題：		研究期間：平成 年 月 日～ 平成 年 月 日
研究内容：		

【備 考】・主な業績欄は、著書、発表論文、学会発表等の主要なものを記載してください。
・研究内容欄は、研究目的、研究方法、考察、結論等の要点を記載してください。

平成 年 月 日

公益財団法人 ウイルス肝炎研究財団
代表理事 市田 隆文 殿

(所属機関の長)

所 属：

職 名：

氏 名：

公印

公益財団法人 ウイルス肝炎研究財団研究助成事業（研究奨励金）申請書

団体・共同研究グループ	団体・共同研究グループ, 代表者：			
	所在地（連絡先）〒			
	TEL：		FAX：	
共同研究者	設立・沿革：		主な業績：	
	所 属 機 関	職 名	氏 名	分 担 研 究 事 項
研究課題：		研究期間：平成 年 月 日～ 平成 年 月 日		
研究内容：				

【備 考】・主な業績欄は、著書、発表論文、学会発表等の主要なものを記載してください。
・研究内容欄は、研究目的、研究方法、考察、結論等の要点を記載してください。